

ブロックエディタ（Gutenberg）整形済みテキスト編のマニュアル

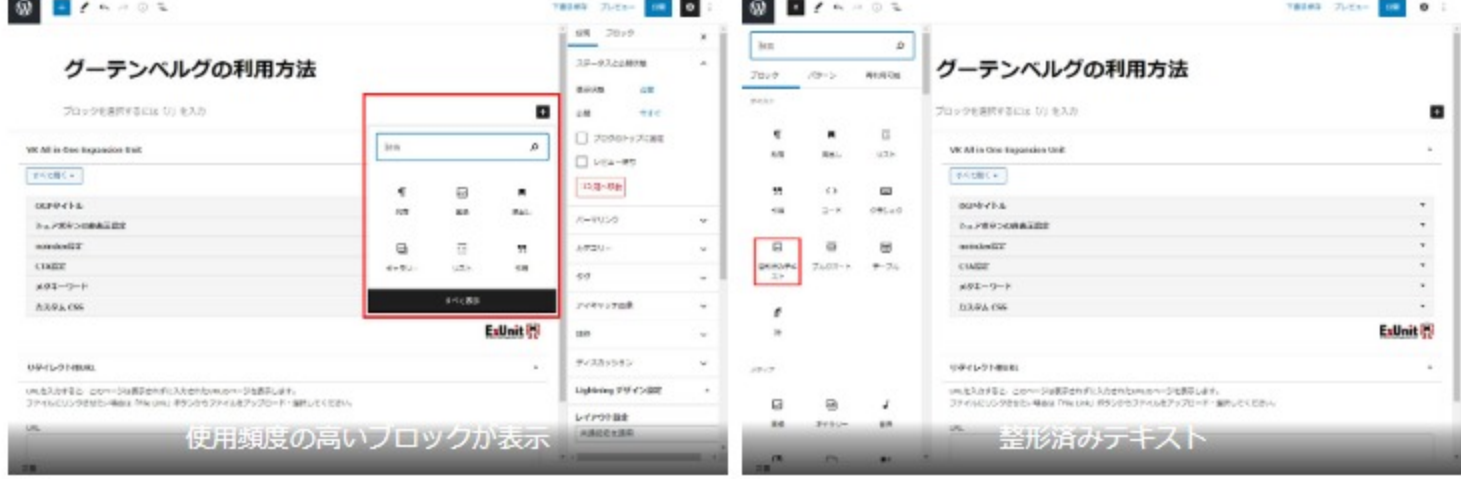
pre は PREformatted text(整形済みテキスト) の略です。ソース中のスペースや改行をそのまま表示します。ソースコードなどを表示する際に便利です。

おすすめ度



図解による使い方マニュアル

STEP 1 挿入



ブロックの挿入は+アイコンをクリックしてブロックを挿入。赤枠の中から「整形済みテキスト」を選択。

STEP 2 設定方法



設定方法は右側のサイドバーに表示されます。

※もし表示されていない場合は画面右上のギアのマークをクリックすると表示されます。

設定できる内容

段落全体の場合

フォントサイズ

色

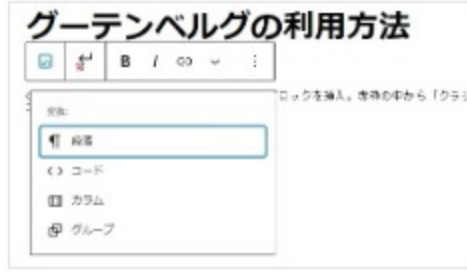
テキスト設定（ドロップキャップ）

非表示設定：画面サイズにより設定を表示もしくは未表示の設定が可能

高度な設定：HTMLアンカー（ページ内リンクのみだ歳の設定）、追加CSSのクラス名の指定（.〇〇の先頭部分の.ドット部分は省略。複数クラスを半角スペースで区切ります。）

選択アイコン

現在選択されているブロック名



挿入するブロックを間違えた場合は、他のブロックに変更できる。があまり選択肢の幅はない。よく使うブロックに限られる。その為このブロックを削除して改めて選択し直す必要があります。

画面サイズごとの改行

長文の場合、画面サイズごとに開業させる場合選択します。

太字

ドラッグして指定した文字を太字に変換します。（レイアウトの見本を優先した方が良くと思われる。）

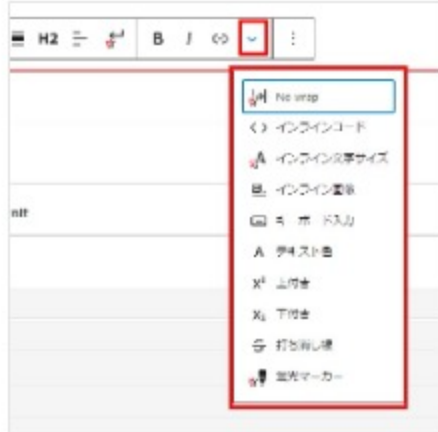
斜体（イタリック）文字アイコン

ドラッグして指定した文字を斜体に変換します。（レイアウトの見本を優先した方が良くと思われる。）

リンクアイコン

指定した文字列にリンクさせる場合、絶対パスで指定する(例：https://web-cosmo.net/) 新しいタブで開くも選択できます。

文字装飾



ドラッグ指定した文字列に文字装飾が可能。

装飾内容

NOwrap：折り返し禁止

インラインコード：文章内である特定の文字列をハイライトすることで見やすくすることができます。

インライン文字サイズ：ドラッグした特定の文字列のフォント指定

インライン画像：文字列内に画像を差し込む

キーボード入力：キーボード風の文字装飾というのは、例えばPCでのキーボード操作を説明する際の、「Shift + Ctrl + P」を Shift + Ctrl + P

↓

Shift + Ctrl + P

のようにいかにもキーボードっぽい感じで解りやすく表現することができます。

テキスト色：ドラッグして指定した文字の色を変更することが可能。

X² 上付き

X₂ 下付き

画像のように文字の上付き下付き文字を指定することが可能。

打ち消し線

蛍光マーカー

ブロック編集



設定できる内容

コピー：ブロックのコピー。段落挿入後張り付けるとコピーされる。

複製：ブロックの複製。同じ内容が複製（コピペ）でき上段の作業を1回で行えるメリットがあります。

前に挿入：現在のブロックの前に新たなボックスを挿入することが出来ます。

後に挿入：現在のブロックの後に新たなボックスを挿入することが出来ます。

移動：ブロックの移動

HTMLとして編集

再利用ブロックに追加：該当ブロックを登録して再利用が行えるように登録する。※テーマプラグインにより表示されない場合がある。

グループ化：複数のブロックをまとめる事が出来る。

ブロックを削除